



デロンギ
アイスクリームメーカー **家庭用**

型番
IC4000S

ジェラート イタリア ソフィーチェ



取扱説明書

MADE IN ITALY

特長

本製品は、手軽にホームメイドのアイスクリームやシャーベットが作りいただけるアイスクリームメーカーです。

- 材料を入れてから約12～20分で、ふんわりとしたソフトな食感のアイスクリームができます。
- ご家庭で選んだ新鮮な材料を使って、お子様にも安心して食べさせられる無添加の我が家のオリジナルアイスクリームが作れます。
- ON/OFFスイッチだけのシンプル構造で、操作も簡単です。
- 保冷ポットとふたは、取り外して水洗いができ衛生的です。保冷ポットはステンレス製で耐久性に優れ、ほとんどの家庭用冷凍冷蔵庫や引出し式の冷凍庫でお使いいただけます。
- 保冷ポットは、アイスペールやワインクーラーとしてもご利用いただけます。

このたびは、デロンギ アイスクリームメーカー IC4000Sをお求めいただき、誠にありがとうございました。本製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。

お読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意	1～3
保冷ポット：使用上の注意点	4
各部の名称とはたらき	5
アイスクリームを作る前に(必ずお読みください) 6	
アイスクリームの作り方	7～8
お手入れのしかた	9
アイスクリームがうまくできない場合	10
仕様	10
アフターサービスについて	裏表紙

安全上のご注意

1. ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
2. ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
3. 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「警告」と「注意」の2つに分け、明示しています。

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

4. 各注意事項には、「注意」、「禁止」、「強制または指示」をうながす絵表示が付いています。



発火注意



感電注意



高温注意



禁止行為



分解禁止



強制／指示



プラグをコンセントから抜く

電源について

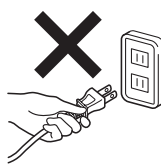
警告

- 電源は、「15A 125V」と記されている壁面のコンセントから直接とる
それ以外のコンセントから電源をとると、火災や感電の原因となります。

15A 125V



- 電源は、家庭用交流100V／50／60Hzで使用する
それ以外で使用する
と、火災や感電の原因となります。



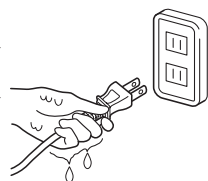
200V



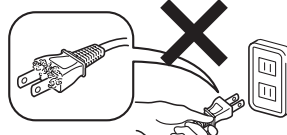
プラグについて

警告

- 濡れた手でプラグを抜き差ししない
感電の原因となります。



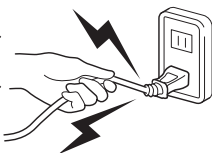
- プラグに付いたホコリなどは
取り除く
プラグにほこり
等がたまると、
湿気等で絶縁不
良となり、火災の原因とな
ります。定期的に取り除いてください。



プラグについて

注意

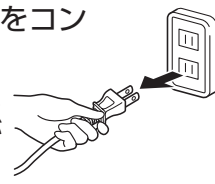
- プラグを持って抜き差しする
電源コードを持たず、必ずプラグ部分を持って抜き差ししてください。
電源コードを持って抜き差しすると、火災や感電の原因となります。



- プラグはしっかりと差し込む
しっかり差し込まないと、
火災や感電の原因となります。
- 使用時以外はプラグをコンセントから抜く
火災の原因となることがあります。プラグがコンセントにつながっている間は、その場を離れないでください。



- 使用時以外はプラグをコンセントから抜く
火災の原因となることがあります。プラグがコンセントにつながっている間は、その場を離れないでください。



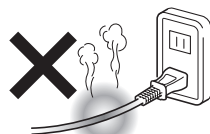
電源コードおよびコンセントについて ⚠ 警告

●破損した電源コードやプラグ、コンセントは使用しない

- 電源コードやプラグが破損していたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。感電、ショート、発火の原因となります。お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）までご相談ください。



- 使用中、電源コードやプラグが異常に熱くなる場合は、ただちに使用を中止してプラグをコンセントから抜き、お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）までご相談ください。



電源コードについて ⚠ 注意

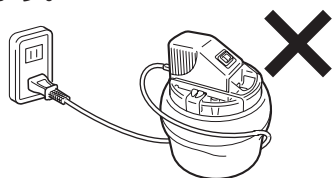
●電源コードやプラグを乱雑に扱わない

- 電源コードやプラグを無理に曲げる、物をのせる、傷を付ける、熱に近づける、引っばる、ねじる、束ねるなどしないように、丁寧に扱ってください。コードが破損して、火災や感電の原因となります。



●使用中は、電源コードが保冷ポットに触れないようにする

- 電源コードが破損して、火災や感電の原因となります。



保冷ポットについて ⚠ 警告

●落としたり、強いショックを与えない

- 保冷ポット内の保冷液が漏れる恐れがあります。（詳しくは4ページ）
万一、保冷液（ブルー）が漏れた場合は、絶対に口にしないでください。



保冷ポットについて ⚠ 注意

●素手で触れない

- 冷凍庫から保冷ポットを取り出す際は、必ず鍋つかみやタオルなどを使ってください。凍傷になる危険があります。



●アイスクリームの取り出しには、金属製品は使わない

- 木のヘラ等をお使いください。保冷ポットが傷ついたりする恐れがあります。



使用場所について ⚠ 警告

●子供だけで使わせたり、幼児の手の届く場所やペットの近くで使用しない

- けがや感電をする危険があります。

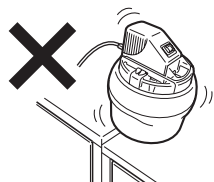


安全上のご注意(続き)

使用場所について

⚠ 注意

- 平らで安定のよい台などに置いて使用する
不安定な場所に置くと、本製品が転倒し、けがや故障の原因となります。



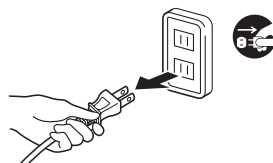
- 熱い表面、濡れた表面およびストーブやガスコンロなどの熱源のそばに置かない
故障の原因となります。



使用上のご注意

⚠ 警告

- 使用後および使用しないときは電源スイッチを切り、必ずプラグをコンセントから抜く
誤作動によるけがの原因となることがあります。

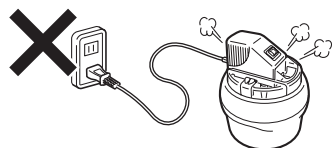


使用上のご注意

⚠ 注意

- 本製品を、他の用途や屋外で使用しない
この製品は、家庭用アイスクリームメーカーです。食材以外のものを混ぜ合わせるなど他の用途で使用すると、けがや故障の原因となります。

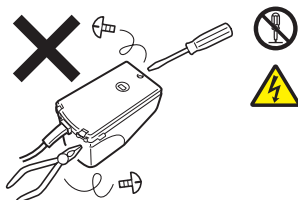
- 連続20分以上は運転しない
20分以上の運転が必要な場合は、一度スイッチを切り、3分ほど待ってから再びスイッチを入れてください。
モーター故障の原因となります。



お手入れについて

⚠ 警告

- 改造や分解、修理しない
感電やけがの原因となります。修理は、お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）までご相談ください。



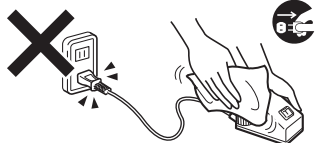
お手入れについて

⚠ 注意

- モーター部や電源コード、プラグを水に浸けたり、水洗いしない
故障や感電の危険があります。



- お手入れの前にプラグをコンセントから抜く
誤作動により、けがをする危険があります。



- 金たわし、ベンジン、クレンザー、シンナーなどは使用しない
各部品が傷ついたりする恐れがあります。

- 使用後は、毎回必ずお手入れをする
9ページを参照して、必ずお手入れをしてください。



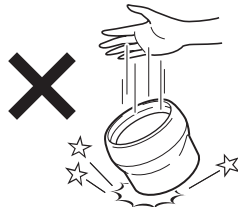
保冷ポット：使用上の注意点

保冷ポットは、アイスクリームを作る上で重要な役割をする部分(容器)ですので、以下の注意点を必ず守り、正しい使いかたをしてください。

⚠ 注意

❌ 落としたり、強いショックを与えないでください。

- 扱うときは、必ず両手でしっかりと持ってください。



- 保冷ポットの表面や手が濡れているとすべりやすいので、ご注意ください。



保冷ポットを落とした場合は…

保冷ポットの内部変形および保冷液が漏れた形跡がある場合には、ただちに使用を中止し、お求めの販売店または弊社サービスセンター(裏表紙参照)にご相談ください。

※ 保冷液はブルーに着色してあります。

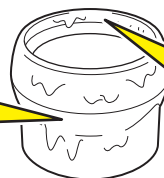
保冷液が皮膚に付いた場合は…

保冷液は「塩化カリウム化合物」です。誤って触れたり、目に入ったり、口にした場合は、お早めに水道水で洗い流してください。

❗ 冷凍庫に入れる前に、表面や内側(開口部)周辺に付いた水分を拭き取ってください。

特に、内側(開口部)周辺の水分が氷結すると、ふた付モーター部の取り付けができなくなりますので、ご注意ください。

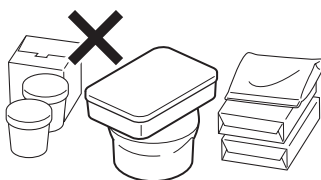
取り出す際にすべりやすくなるので、水分を拭き取る



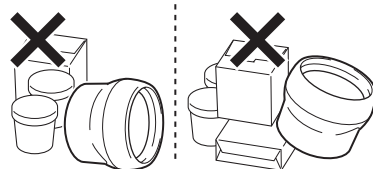
この周辺に付いた水分は、必ず拭き取る

❗ 冷凍庫には、ふたをしないで立てて入れてください。

- 開口部をふさぐと、冷凍庫内の冷気が内側に入らず、保冷ポットが冷えません。



- 傾いた状態では、保冷ポット内の保冷液が片寄り、冷えかたにムラが生じます。



❗ 保冷ポットを続けて使用する場合は、保冷液を自然解凍*で液状に戻してから、冷凍庫に入れます。

※ 自然解凍：お手入れ後、保冷ポットを室温に置いてください。

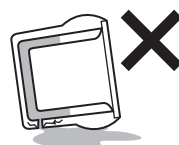
- 解凍が不十分ですと、冷えかたにムラが生じます。

- 解凍した(液状に戻った)場合、保冷ポットを振ると、ポチャンポチャンと音がします。

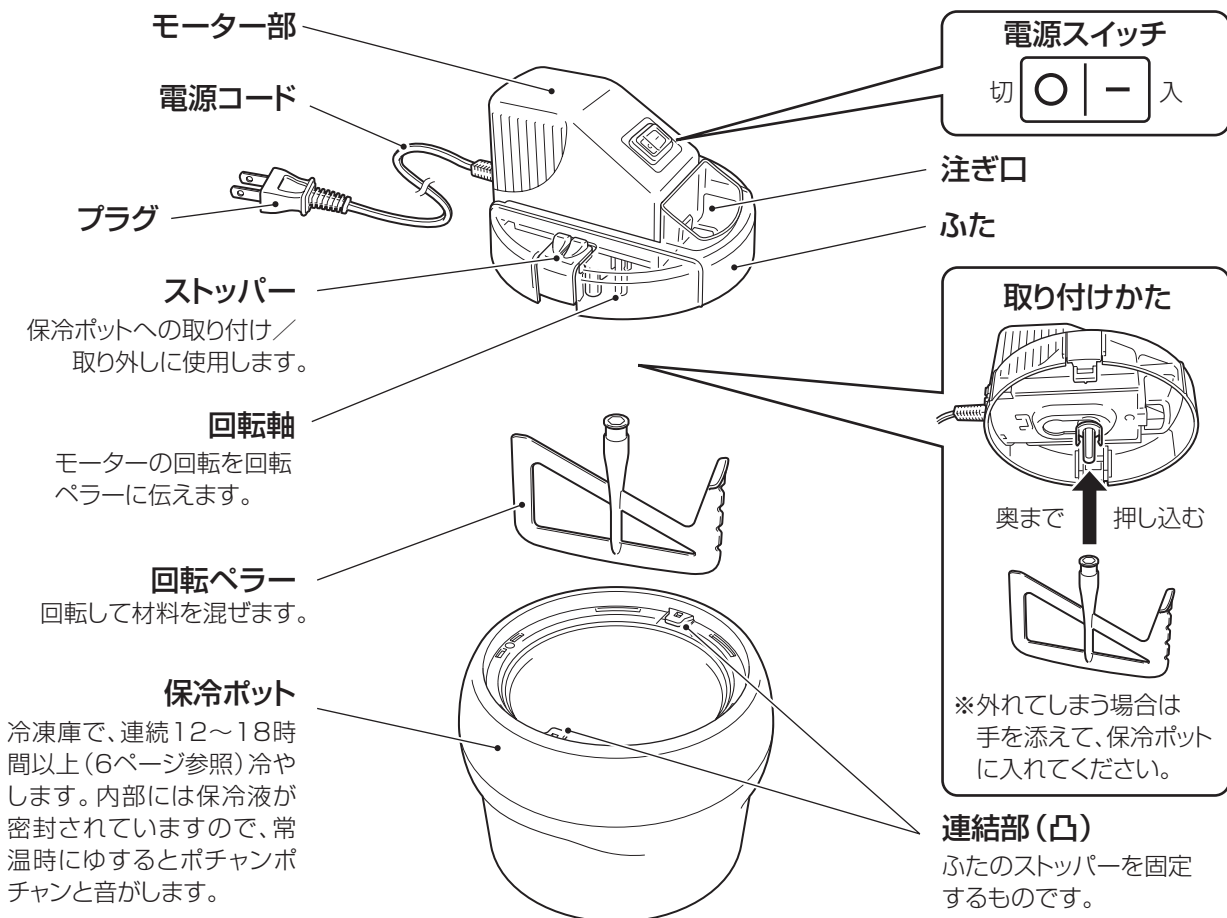


❗ 保冷ポットをしばらく使わないときは、必ず立てた状態で保管してください。

長期間、横にしたり、逆さまにしておくと、保冷液が漏れる恐れがあります。



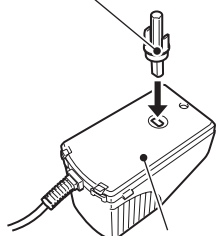
各部の名称とはたらき



回転軸の 取り付け／取り外し

取り付けるときは・・・
ふたに取り付ける前に、
回転軸を取り付けてくだ
さい。

形状を合わせ、
回転軸をはめる



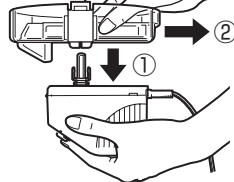
モーター部

取り外すときは・・・
まっすぐに引き抜く。

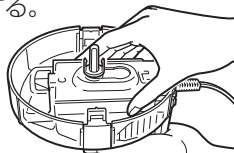
ふたの 取り付け／取り外し

モーター部に付けるときは・・・

- ① 回転軸にふたを
はめる。



- ② ふたを後方に平行に引いて
固定する。



取り外し ← → 取り付け

取り外すときは・・・
ふたを前方に平行に押し出して外す。

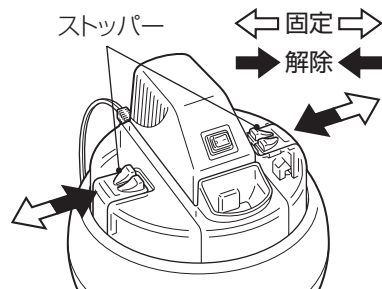
ふた付きモーター部の 取り付け／取り外し

保冷ポットに取り付けるときは・・・

- ① 回転ペラーを取り付け、保冷ポット
の開口部にかぶせる。
- ② ストッパー(2ヶ所)を連結部に重
ね、カチッというまで外側に押し、
固定する。

取り外すときは・・・

ふたの両側にあるストッパーを、カチッ
というまで内側に押し込み、解除する。



アイスクリームを作る前に(必ずお読みください)

アイスクリームを作る(7ページ参照)ために必要な準備事項ですので、必ずお守りください。また、正しい準備をすることで、失敗を避けることができます。

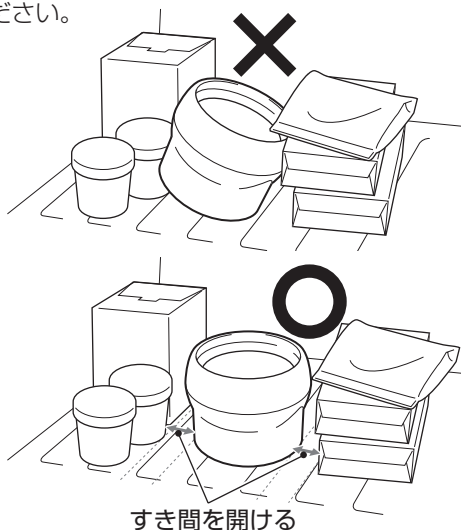
冷凍庫について

- 庫内温度が -18°C 以下になるスリースター **☆☆☆** 以上の冷凍冷蔵庫をご使用ください。
- 庫内の温度設定を「強」にします。
- 冷気の循環を良くするために、庫内に充分なすき間をつくってください。

保冷ポットの冷凍

● 冷凍する際の注意

- 保冷ポットを冷凍庫に入れて冷やします。
※ モーター部を冷やさないでください。
- -18°C 以下で、必ず「冷凍時間の目安」以上の時間をかけて冷やしてください。
- 保冷ポットに他の保存物が触れないようにしてください。



- 保冷ポットを冷やす前に、庫内の「霜取り」をしておきます。

● 冷凍時間の目安

- 作るアイスクリームの量によって変わります。


材料の全体量	冷凍時間(目安)
300cc	約12時間以上
600cc	約18時間以上

※ 冷凍庫内の状態(食品の詰り具合やドアの開閉頻度など)によっては、冷凍時間を延長してください。

※ 保冷ポットは、冷凍庫に数日間入れておいても問題ありません。

材料および分量について

● 材料

加熱した材料	加熱調合後すぐにボウル等に入れ、まわりに氷水をあてて 10°C 以下に冷やします。  ※ その後冷蔵庫で保存する場合は、約 5°C を目安に、冷やします。ただし、いたみやすいので長時間の保存はおやめください。
加熱していない材料	アイスクリームメーカーに入れる前まで、約 5°C を目安に、冷蔵庫で個別に冷やしておきます。 ※ 各材料は、入れる直前に冷蔵庫から取り出し、ボウルなどに移してよく混ぜ合わせます。なお、混ぜ合わせた材料はいたみやすいので、保管することはおやめください。

● 分量

- 材料を混ぜ合わせた全体量が、基準量(300～600cc)を超えないようにします。

全体量の「基準量」 $\left\{ \begin{array}{l} \bullet 300\text{cc} : \text{約3人分} \\ \bullet 600\text{cc} : \text{約6人分} \end{array} \right.$

- 別冊のレシピ集を参考にしてください。

アイスクリームを作る部屋の温度

- アイスクリーム作りは、 30°C 以下の室温で行ってください。
- ※ 室温が 30°C 以上ある場合には、アイスクリームがうまくできないことがあります。

アイスクリームの作り方

保冷ポットは、使用する約12～18時間以上前から冷凍庫に入れておいてください。

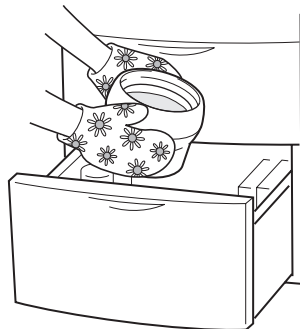
1 保冷ポットを冷凍庫から出す。

鍋つかみ(ミトン)やタオルなどを使って冷凍庫から保冷ポットを取り出します。



ご注意

保冷ポットを冷凍庫から取り出す際は、絶対に素手で触れないでください。

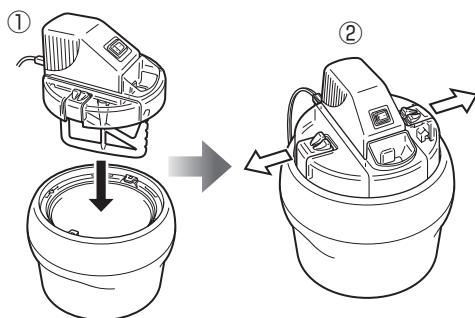


2 ふた付きモーター部を取り付ける。

① モーター部に回転軸とふたと回転ペラーを取り付け、保冷ポットの開口部にかぶせます。

② ストッパー(2ヶ所)を連結部に重ね、カチッというまで外側に押し、固定する。

※ 保冷ポットに取り付ける際は、事前に、両方のストッパーを内側にセット(=解除)しておいてください。



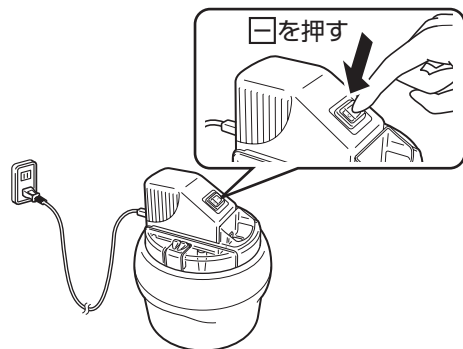
3 プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを入れる。

電源スイッチを入れると、回転ペラー(モーター)が回転します。



ご注意

必ず、アイスクリームの材料を入れる前に、電源スイッチを入れて(回転ペラーを回転して)ください。



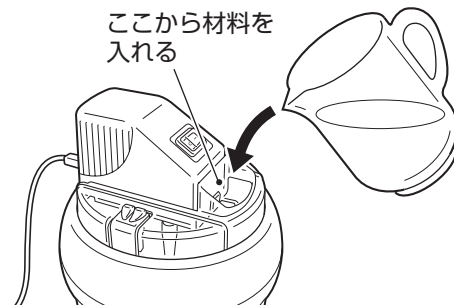
4 材料を入れる(アイスクリームを作る)。

アイスクリームの材料(6ページ参照)を、ふたの注ぎ口より少しずつ注ぎ入れます。アイスクリームは、材料の質や量、準備、室温などの条件にもよりますが、約20分(600cc材料量の場合)でできあがります。



ご注意

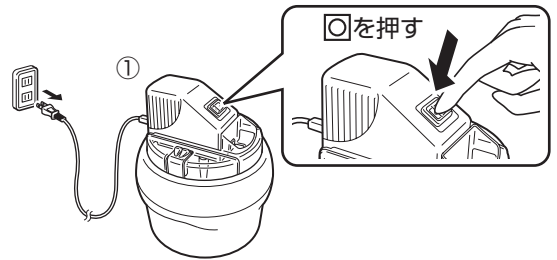
- ・ 連続20分以上運転する場合は、一度スイッチを切り、3分ほど待ってから、再びスイッチを入れてください。
- ・ 材料によっては、途中で注ぎ口から飛び出すことがあるので注意してください。



5

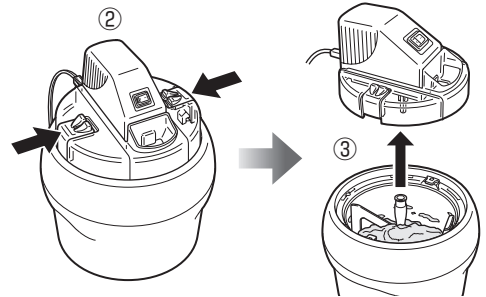
アイスクリームを取り出す。

- ① 電源スイッチを切り、プラグをコンセントから抜く。



- ② ふたの両側にあるストッパーを、カチッというまで内側に押し込み、解除する。

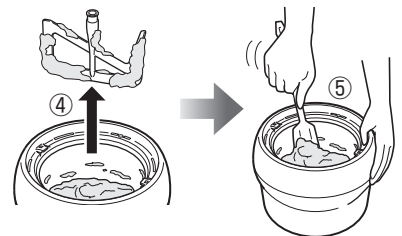
- ③ ふた付きモーター部を持ち上げ、保冷ポットから外す。



- ④ 回転ペラーを取り出す。

- ⑤ 木製ヘラ(金属製は不可)などを使い、保冷ポットからアイスクリームを取り出す。

※ できあがったアイスクリームは柔らかめです。固めがお好みなら、保冷ポットごと冷凍庫に入れて、少し冷やしてください。



アイスクリームを保存する場合

- 保存温度： -18℃以下
- 保存容器： 清潔で、きちんとふたのできるもの。「調理日」と「アイスクリームの種類」を明記しておきましょう。
- 保存期間の目安： 加熱していない材料を使ったアイスクリーム ……約1週間
加熱した材料を使ったアイスクリーム ……約2週間
シャーベット ……約1～2週間
※ 冷凍庫をひんぱんに開閉する場合は、保存期間も短くなります。
※ 日がたつにつれて風味が損なわれます。できるだけ新鮮なうちにお召し上がりください。

レシピ集からの応用

別冊のレシピ集に記されている材料の種類や分量を少しアレンジすることで、オリジナルのアイスクリームが作れます。

● 濃厚なアイスクリームを作るには…

牛乳の量を減らし、減量分を生クリームに代えて使います。

● 甘さを調節したいときは…


砂糖(グラニュー糖、黒糖、オリゴ糖シロップ、てんさい糖など)の量をお好みにあわせて増減します。

● 短時間でアイスクリームを作るには…

レシピ集では、材料を加熱してカスタードを作るレシピになっていますが、時間がないときは、カスタードの手順から加熱を省き、材料を混ぜ合わせるだけで作ることもできます。



お手入れのしかた

 プラグはコンセントから抜いておいてください。

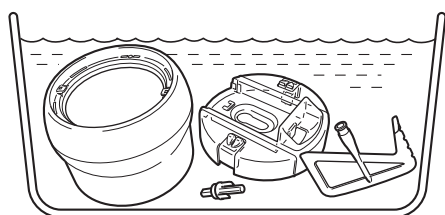
アイスクリームや材料などなまものが触れる部分は、特に清潔にしておくことが大切です。使用後は、各部品を取り外し、下記の要領でお手入れしてください。



ぬるま湯で水洗いします

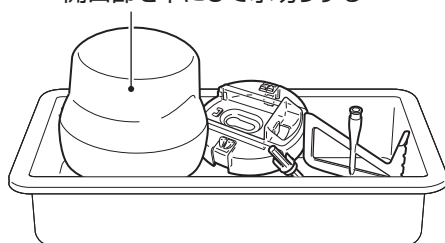
台所食器用洗剤とぬるま湯(40℃以下)で水洗いします。

※ 保冷ポットは常温に戻してからお手入れしてください。



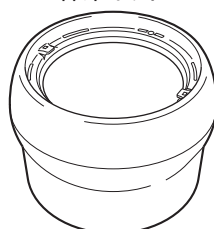
よくすすいで乾かします。保冷ポットは、開口部を下に水切りをしてください。

開口部を下にして水切りする

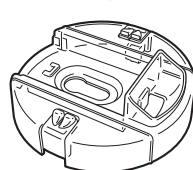


■ 水洗いできます

保冷ポット



ふた



回転ペラー



回転軸



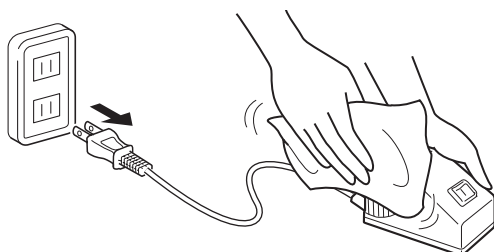
⚠️ ご注意

- 食器洗い機および乾燥機は、使用しないでください。
- クレンザー、ベンジン、シンナー等は、使用しないでください。
- 保冷ポットの内壁は傷がつきやすいので、柔らかいスポンジをご使用ください。
- 各部品は水気をよく取ってから、組み立ててください。



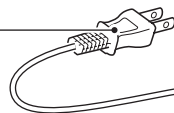
乾いた布で拭きます(水洗いできません)

乾いた柔らかい布で拭きます。汚れが落ちにくい場合は、布をぬるま湯に浸し、固く絞ってから使います。



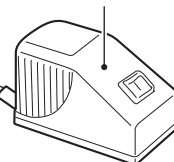
■ 水洗いできません

プラグ




電源コード

モーター部



⚠️ ご注意

- お手入れをする前に、必ずプラグをコンセントから抜いてください。
- モーター部および電源コード／プラグをぬらしたり、水に浸けないでください。

アイスクリームがうまくできない場合

アイスクリームがうまくできない場合は、以下の事項をチェックしてください。

	考えられる原因	処置
冷凍庫	<ul style="list-style-type: none">庫内温度が、-18°C以下になっていない庫内の温度設定が、「通常」のままである庫内に霜がある食品等の詰め過ぎ保冷ポットの冷凍中に、冷凍庫の扉を頻繁に開けた	<ul style="list-style-type: none">⇒ スリースター *** 以上の冷凍冷蔵庫を使用する⇒ 庫内の温度設定を「強」にする⇒ 事前に、必ず「霜取り」をしておく⇒ 冷気の循環をよくするために、庫内にすき間をつくる⇒ 保冷ポットの冷凍時間を延長する
保冷ポット	<ul style="list-style-type: none">冷凍時間が短い保冷ポットの開口部をふさいだ保冷ポットを寝かせたり斜めにした冷凍庫から出して、10分以上経った	<ul style="list-style-type: none">⇒ -18°C、庫内の温度設定を「強」にして、6ページ「保冷ポットの冷凍」で示した冷凍時間の目安以上に冷やす⇒ 保冷ポット内側に冷気が入るように開ける⇒ 内部の保冷液が片寄るので、必ず立てる⇒ 準備ができるまで、冷凍庫に入れておく
材料	<ul style="list-style-type: none">常温のまま、保冷ポットに入れた分量を間違えた	<ul style="list-style-type: none">⇒ 6ページ「材料および分量について」で示した通りに冷やしておく⇒ 付属のレシピ集を参照し、正しい分量と作りかたを守る(8ページ「レシピ集からの応用」は可)

この製品はJ-Mossグリーンマーク対応製品です。

J-Mossとは、「電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示」を規定したJIS規格(JIS C 0950)です。この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブロモビフェニル(PBB)、ポリブロモジフェニルエーテル(PBDE)の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。



J-Moss グリーンマーク

仕様

製品名称／型式番号		デロンギ アイスクリームメーカー／IC4000S				
定格	電圧／周波数	AC100V／50/60Hz				
	消費電力／運転時間	10W／20分(連続運転)				
外形寸法／重さ		幅190×奥行190×高さ215mm／2.4kg(各部品含む)				
保冷ポットの容量		1.1L				
部品名および材質	保冷ポット		回転軸	モーター部	ふた	回転ペラー
	表面	内側	ポリアセタール	ABS樹脂	AS樹脂	ポリアセタール
	ポリエチレン	ステンレス				
保冷液(保冷ポット内)		塩化カリウム化合物				
電源コードの長さ		1.4m				
付属品		レシピブック(1冊)				

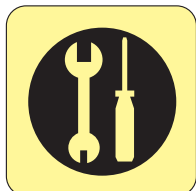
アフターサービスについて

- 1) 使用中に異常(★参照)が生じた場合は、ただちに電源を切り、プラグをコンセントから抜いてください。その後、お求めの販売店または弊社サービスセンター(下記)にご相談ください。

★以下のような場合には、点検および修理が必要です。

- いつもと状態が違う
- モーターが動かない(スイッチが入らない)
- 電源コード/プラグ、コンセントが、異常に熱くなる
- 保冷ポットに、強い衝撃を加えたとき
- 取扱説明書の通りに使用しても、まだ、不明な点があるとき

- 2) 万一、故障/損傷した場合は、保証書に記載されている販売店に1.お求め時期 2.製品名称と型式番号 3.故障の状況——を連絡のうえ、修理を依頼してください。なお、弊社サービスセンターにご依頼される場合は、お電話または直接宅配便でお送りください。宅配便の場合は、必ず故障の状況を記したメモを商品パッケージ(梱包箱)に同封してください。
- 3) 保証期間中(1年)は、保証書に記載されているものについては、無償で修理いたします。ただし、安全上および使用上の注意を無視しての故障、規格外に改造をしたものは、その限りではありません。また、保証期間が過ぎたものについては、有償で修理いたします。
- 4) 真心点検のお勧め：長い期間ご使用いただくために、専門技術者による点検・整備も実施しております。点検の依頼の方法、料金などにつきましては、弊社サービスセンターまでお問い合わせください。
※下の枠内に、ご購入年月日を記入してください。点検の目安になります。



ご購入年月日: 年 月 日

- 5) デロンギ再資源化システムについて



ご不用になった製品は、下記の要領に従い、弊社サービスセンターまでお送りください。素材ごとに分別し、再資源化いたします。

送料について：再資源化の費用は弊社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担(元払い)となります。予めご了承ください。

梱包について：製品の入っていた箱(元箱)に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアパッキンにくるんでください。

※外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または弊社サービスセンターまでお問い合わせください。

デロンギ・ジャパン サービスセンター

(受付時間▶土、日、祝日を除く毎日 9:30 ~ 18:00)

コールセンター

修理について Tel.0120-804-280

Tel.0120-692-885

／ Fax.045-450-3291

お問い合わせ Tel.0120-064-300

Tel.0120-692-880

●横浜：〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-9 安田倉庫(株)内 4 号ビル

●大阪：〒564-0044 大阪府吹田市南金田 2-21-25

ホームページでのお問い合わせ (URL) ——— <http://www.delonghi.co.jp>



デロンギ・ジャパン株式会社

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-5-6 第3大東ビル Tel. 03-5256-6321(代)



再生紙を使用しています。